

令和 2 年 5 月 29 日

名古屋教育医療記者会 各位

名古屋市立大学病院 産科婦人科

部長 杉浦 真弓

電話 : 052-853-8241

(名古屋市政記者クラブと同時発表)

妊婦さんのコロナ感染症スクリーニング PCR 検査全例陰性

名古屋市立大学病院では、2020 年 5 月 6 日から当院で出産が近い妊婦さんの新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の有無を調べるため、PCR 検査を実施しました。5 月 6 日から 27 日までに、34 人を調べたところ陽性者は 0 人、陽性率は 0% でした。

PCR 検査では感染しても陽性にならない時期や偽陰性などがあり、100%信頼できるわけではありません。分娩は 3 密空間で実施されることに加えて、陣痛発来から 15 時間以上の所要時間がかかることがあります。Lancet に発表された武漢の 9 人の COVID-19 感染妊娠の報告では、新生児や医療従事者への感染防御のため帝王切開が実施されました。当院は総合周産期センターとして、COVID-19 感染または感染疑いの妊婦さんのために分娩取り扱いマニュアルを作成しました。今のところ妊娠中の児への影響ははっきりしていませんが、出産後の新生児への感染を避けるため隔離が必要です。新生児の治療が必要な場合はさらにほかの新生児からの隔離も必要となります。

4 月 24 日の報道で慶応義塾大学病院は、4 月 13 日から 4 月 19 日に行った術前および入院前 PCR 検査の結果、無症状の患者 67 人中 4 人 (5.97%) が陽性者だったと公表しました。無症状の一般集団での陽性率は他にも報告されています。このような状況で当院は、感染リスクの高い診療行為である分娩、一部の手術に対してスクリーニング PCR 検査を実施することを決定しました。

妊婦さんのスクリーニング検査はまだあまり公表されていません。新型コロナウイルス感染症の流行のため里帰り分娩や夫立ち合い分娩の自粛が推奨されており、不安な気持ちで過ごされています。今回の結果から、臨床症状のない妊婦さんの COVID-19 PCR 陽性率はさほど高くはないことが推測できます。妊婦さんは特に感染予防を心がけてこられたでしょうから、その効果なのかもしれません。

地域や時期によってこの陽性率は異なるため、すべての分娩が安心、とはいえませんが、妊婦さん、産科医、助産師は、過剰な不安を持たなくてよいと思えます。

世界中が困難な状況のこの時期に、生まれてくる新しい生命とお母さんを安心して守れるように産科医師と助産師が尽力してくれることを願っています。